

世界の森林面積の純変化 2005 - 2010年

Net change in forest area by country



2010年現在、世界の森林面積は約40億haで、世界の陸地面積の31%を占めています。いくつかの国では、森林の減少傾向に歯止めがかかっています。ブラジルやインドネシアでは、1990年代に世界最大だった森林の純消失面積が、2000年以降大きく低下しました。アジアでも、主に中国の大規模な植林

により、90年代に純減した面積が2000-2010年には純増に転じました。しかし、南米やアフリカ、南・東南アジアの多くの国々では森林の消失率が依然として高いままです。オーストラリアも2000年以降、厳しい干ばつと森林火災によって森林の消失が深刻化しています。その結果、世界全体の森林面積は、2000-2010年の間に毎年平均

で520万ha（四国と九州を合わせた面積）が失われたとFAOは推定しています。以前に比べると減少速度はゆるやかとなっているとはいえ、地球温暖化の原因となる炭素を吸収する森林を守るために、持続可能な管理に向けた取り組みが引き続き求められます。

